

平成26年度第6回教育研究評議会議事要旨

日時 平成26年9月10日（水）15時46分～16時00分

場所 第1会議室

出席者 17名

和田学長，大矢理事（総務・財務担当副学長），鈴木理事（教育担当副学長），尾形評議員（言語センター長），行方評議員（情報処理センター長），穴沢評議員（国際交流センター長），佐野評議員（経済学科長），乙政評議員（商学科長），小倉評議員（企業法学科長），加地評議員（社会情報学科長），花輪評議員（一般教育系学科主任），金評議員（現代商学専攻長），旗本評議員（アントレプレナーシップ専攻長），船津評議員（経済学科教授），石黒評議員（企業法学科教授），八木評議員（一般教育系教授），羽村評議員（言語センター教授）

公欠者 6名

近藤副学長，杉山評議員（保健管理センター所長），李評議員（ビジネス創造センター長），高田評議員（商学科教授），佐山評議員（社会情報学科教授），瀬戸評議員（アントレプレナーシップ専攻教授）

欠席者 0名

議事に先立ち，事前に配付している前回（7月16日）開催の平成26年度第5回教育研究評議会の議事要旨の確認が行われた。

議 題

1. 小樽商科大学学則の一部改正（案）について

和田学長から，審議資料1に基づき，小樽商科大学学則の一部改正（案）について諮られ，審議の結果，原案のとおり承認された。

承認後，和田学長から，本件について承認されたため，平成27年4月1日付けで施行する旨発言があった。

2. 小樽商科大学国際交流委員会規程の一部改正（案）について

和田学長から，審議資料2に基づき，小樽商科大学国際交流委員会規程の一部改正（案）について諮られ，審議の結果，原案のとおり承認された。

承認後，和田学長から，本件について承認されたため，平成26年10月1日付けで施行する旨発言があった。

3. 事務組織の再編に伴う学内規程等の一部改正（案）について

和田学長から、審議資料3に基づき、事務組織の再編に伴う学内規程等の一部改正（案）について、提案があった。

なお、本来であれば、規程・規則ごとに個別に審議願うところであるが、今回の改正については、事務組織の再編に対応するよう事務担当の記載を変更することが趣旨であるため、改正する必要がある規程・規則を一括して審議する方法としたい旨発言があった。

その後、審議が行われ、審議の結果、原案のとおり承認された。

承認後、和田学長から、本件について承認されたため、平成26年10月1日付けで施行する旨発言があった。

4. 小樽商科大学と小樽市総合博物館等との連携に関する協定の締結について

和田学長から、審議資料4に基づき、小樽商科大学と小樽市総合博物館等との連携に関する協定の締結について提案があった。

なお、締結日について、本件が承認された場合、9月24日に調印式を執り行う予定であるため、その日をもって締結日としたい旨発言があった。

その後、審議が行われ、審議の結果、原案のとおり承認された。

承認後、和田学長から、本件について承認されたため、9月24日に博物館において調印式を行い、本協定を発効させる旨発言があった。

また、本件については、10月15日開催予定の学部・大学院合同教授会に報告する旨併せて発言があった。

5. 教員の割愛について

和田学長から、企業法学科 林 誠司 教授について、平成27年4月1日付けで、北海道大学大学院法学研究科教授に採用したい旨依頼があったので審議願いたい旨提案があった。

なお、本件については、企業法学科会議で承認済みである旨発言があった。

その後、審議が行われ、審議の結果、原案のとおり承認された。

承認後、和田学長から、本件について承認されたため、10月15日開催予定の学部・大学院合同教授会に報告する旨発言があった。

報 告 事 項

1. 教員の辞職について

和田学長から、ビジネス創造センター 澤田 芳郎 教授より、平成27年3月31日付け辞職に係る退職願の提出があり、受理した旨報告があった。

なお、今回は「辞職」による退職であることから、後任人事については、採用保留の対象とはならず、平成27年4月1日以降、採用が可能である旨発言があった。

また、本件については、10月15日開催予定の学部・大学院合同教授会に報告する旨併せて発言があった。

2. 教授昇任者の決定について

和田学長から、本日開催された教授昇任学部教授会及び教授昇任アントレプレナーシップ専攻会議において、教授昇任者が決定し、次のとおり発令する予定である旨報告があった。

〈平成26年10月1日付け教授昇任〉

- 企業法学科 河森 計二
- 一般教育系 西永 亮
- 言語センター 山田 久就
- アントレプレナーシップ専攻 吉澤 卓哉

3. 平成26年12月期勤勉手当における評価基軸について

和田学長から、報告資料3に基づき、平成26年12月期勤勉手当における評価基軸について報告があった。

なお、同評価基軸の「Ⅰ. 勤務成績が特に優秀な職員」の②及び「Ⅱ. 勤務成績が優秀な職員」の①、⑥の具体的な選考にあたっては、学科長からも意見を伺いたい旨発言があった。

次回の会議日程

次回の教育研究評議会は、10月15日（水）に開催する予定である。

以 上